薬剤師の強みが活きる ｜ 製薬・治験キャリア

薬剤師の経験は CRCで活きる

薬学知識と服薬指導の経験は、治験コーディネーター（CRC）の実務で強みになります。



薬剤師の経験なんて、
治験の現場では通用しないんじゃ…！

あら、逆よ。薬の知識と伝える力は、CRCでこそ光るの。



薬剤師の経験がCRCに直結する4つの場面

1 服薬指導の経験
被験者への服薬説明・服薬状況の確認に活きる

2 副作用・相互作用のチェック
有害事象・併用薬の確認に直結

3 医薬品情報（DI）の経験
治験薬や実施計画書の理解を後押し

4 医師・看護師との連携
医療機関内の調整業務に役立つ

当たり前にやってきたことが、そのまま武器になるんですね…！



CRC転職に向いている人・慎重に考えたい人

向いている人

- 薬の知識を治験薬の扱いに活かしたい
- 服薬指導で培った説明力に自信がある
- 多職種と連携してきた経験がある
- 医療用語・書類の扱いに慣れている

VS

慎重に考えるべき人

- 調剤など薬剤師の独占業務を続けたい
- 薬の判断そのものを担いたい
- 対人・調整や書類業務の比重増が苦手

判断の軸

CRCは医学的判断を伴わない業務。対人・調整・書類業務が中心になります。

年収は「同じ粒度」で冷静に見る

薬剤師の平均年収

566.8万円（job tag・職種全体の平均値）

CRCの年収

所属・経験・地域で幅があり、公的な単一の統計値は確認できない

見比べ方

薬剤師平均566.8万円を物差しに、粒度をそろえて比べることが大切

数字は感情で見ないこと。同じ物差しで並べて、はじめて比べられるのよ。



CRCはゴールではなく出発点

CRA（臨床開発モニター）

治験を依頼者側から支える立場へ

薬事（RA）

承認申請や当局対応に関わる

メディカルアフェアーズ

専門性を深める領域へ広がる

CROに所属するCRAは協会会員28社で6,888人。治験の実務経験を足がかりにキャリアを段階的に広げられます。



まとめ｜薬剤師の強みでCRC転職を進める

- 薬学知識・服薬指導・多職種連携の経験がCRCで活きる
- CRCはSMOや医療機関に所属し被験者対応と院内調整を担う
- 年収は同じ粒度の公的データで冷静に比較する

薬剤師としての専門性は、次のキャリアでも決して無駄にならないわ。
まずは公開データを材料に、自分に合った一歩を考えてみましょう。

